

製品名: YB1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe03258**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.16mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 36 kDa; Observed MW: 49 kDa

抗原情報

遺伝子名	YBX1
別名	YBX1; NSEP1; YB1; Nuclease-sensitive element-binding protein 1; CCAAT-binding transcription factor I subunit A; CBF-A; DNA-binding protein B; DBPB; Enhancer factor I subunit A; EFI-A; Y-box transcription factor; Y-box-binding protein 1; YB-
遺伝子 ID	4904
SwissProt ID	P67809
免疫原	ヒト YB1 の合成ペプチド

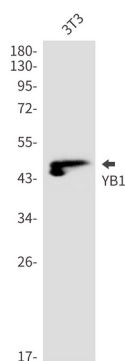
背景

この遺伝子は、広範な核酸結合特性を有する、高度に保存されたコールドショックドメインタンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は DNA および RNA 結合タンパク質の両方として機能し、転写および翻訳の調節、pre-mRNA スプライシング、DNA 修復、mRNA パッケージングなど、多くの細胞プロセスに関与していることが示唆されています。また、このタンパク質はメッセンジャーリボ核タンパク質 (mRNP) 複合体の構成要素でもあり、マイクロ RNA のプロセシングに関与している可能性があります。このタンパク質は非古典的経路によって分泌され、細胞外マイトジェンとして機能します。この遺伝子の異常発現は、多くの組織における癌の増殖と関連しています。この遺伝子は、特定の癌における予後不良および薬剤耐性の予後マーカーとなる可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。この遺伝子の偽遺伝子は複数の染色体上に存在します。[RefSeq 提供、2015 年 9 月]

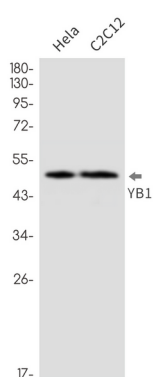
研究分野

タグとセルマーカー

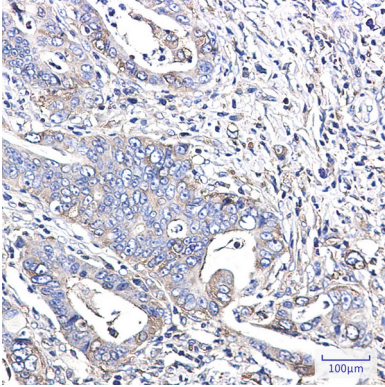
画像データ



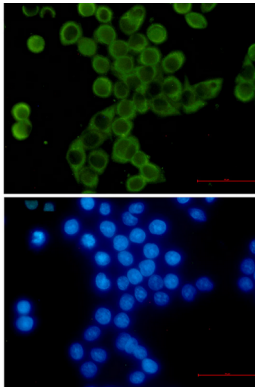
YB1 抗体を使用した 3T3 溶解物中の YB1 のウエスタン プロット分析。



YB1 抗体を使用した HeLa、C2C12 溶解物中の YB1 のウエスタン プロット分析。



YB1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。



YB1 抗体と DAPI (青) を使用した hela 内の YB1 (緑) の免疫細胞化学分析。